

カラフルな世界への第一歩



前号で「ジェンダーのイメージ」についてのアンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。多くの人が、性別に関することに思いを馳せ、コメントをくださいました。その中で目立ったのは、「これは偏見かもしれませんが」や「自分には固定観念があります」というような言葉でした。

ここでは、性別に関する固定観念を「サングラス」で例えた小話を書いてみます。

この世の人はみんなサングラスをかけて生活していました。そのサングラスは種類があって、国や文化によって違う色に見えました。

例えば日本では、そのサングラスをかけると女性はピンク色の服を着ているように見えて、男性は水色の服を着ているように見えました。別の国では、女性は緑色に見えて、男性はオレンジ色に見えるサングラスがかけられていました。みんなサングラスをかけているのがあまりにも当たり前になっているので、サングラスをかけていることにも気が付かず、忘れてしまいました。

世の中では、水色の服を着ている人の方がリーダーに向いていて、ピンク色の服を着ている人の方が人の世話に向いていると昔からみんなが言っていたので、「色のしきたり」に従って仕事を分けた方が良くと多くの人が思っていました。

一方で、ピンク色の服の人たまにはリーダーをした方が良くと思う人もいて、あえて役割を逆にしてみるのが大事だと思っている人もいました。

でも、「色のしきたり」の通り仕事を分担させたい人も、そうでない人も、この世には人々の服の色は2色しかないと思っていました。

そんな中、自分はサングラスをかけているということに気が付いた人がいました。サングラスを脱いでみたらびっくりしました。なぜならいろんな人がいろんな色の服を着ていたことに気が付いたからです。そして、ずっとサングラスをかけて

いることにも気が付かず、この世にはピンク色と水色の服しかないみんなが信じきっていたからです。いやいや、自分もそうだったんですけどね。

この場合のサングラスが、社会的に作られていて、みんなで共有している性別に関するイメージである「ジェンダー」です。社会的なイメージのジェンダーに対して、生物としての性別は社会的なものとは区別して、英語では「セックス」といいます。人間の肉体的性別はどの文化でもヒトという生物だから同じようなことが多いですが、社会の中での性別イメージ(ジェンダー)は、文化がそれぞれの場所で違うように異なっています。

例えば、日本では女性の趣味としてイメージが強い編み物も、フィンランドでは男女ともポピュラーだったり、日本では男性が甘いもの好きだと意外と思われることもあります。男女関係なく甘いもの好きで当たり前という文化の場所もあったりします。

ピンク色と水色の2色で描く絵画もいいかもしれませんが、それぞれの人が持ったいろんな色を適材適所に塗って描いた絵画は、色鮮やかで綺麗な作品になるでしょう。そんな作品を作るときは、まずはサングラスをかけていることに気がついて、試しに脱いでみるのが大事かもしれません。

何事にも言えますが、固定観念を完全に無くすことは難しいとしても、自分が「固定観念を持っているな!」と気がつくことがすごく大事なことはないでしょうか。気づきから出発して、2色の世界からカラフルな世界へ旅してみよう。



ご意見・ご感想をお寄せください

男女共同参画情報紙「シェアリング」をお読みいただきありがとうございました。今号の表紙は、SDGsの「D」を用いて、夏らしいデザインに仕上げました。本情報紙は、2月と8月の年2回発行しています。より充実した情報紙を作成していくため、皆様からのご意見・ご感想を下記事務局までお聞かせください。9月末までにお送りいただいた方に粗品をプレゼントします。

発行・事務局

下野市総合政策部市民協働推進課

〒329-0492 下野市笹原 26 番地 ☎0285-32-8887 📠0285-32-8606

✉shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp



企画・編集

下野市男女共同参画情報紙編集委員会 (飯野文夫/松嶋淑恵/八木橋祐香子/小林優作)

下野市男女共同参画情報紙

シェアリング 第30号 2023.8

~わかちあい~

前号の表紙を
並べると...?



SDGs

下野市のホームページから「シェアリング」
バックナンバーがご覧いただけます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

タイトル由来 みんなが“わかちあう”大切さを持って、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていかれたらとの願いが込められています。



住みよさバツグン!!

私たちのまち 下野市♥

私たちが住んでいる下野市ってどんなまちでしょう? 下野市は、栃木県中南部に位置し、県内の市では一番面積が小さいコンパクトシティです。国道4号・新4号国道・JR宇都宮線など、首都圏中心と東北地方を結ぶ大動脈が通り、交通網が充実しています。また、豊かな住環境と自然にも恵まれた住みよいまちです。

下野市では、だれもが輝く社会の実現に向けてまちづくりを推進しています。今回は下野市の取組について、一部ご紹介します。

◆住みやすさに関するランキング

- ・街の住み心地ランキング2023自治体ランキング <栃木県版> (大東建託賃貸未来研究所) で 県内2位
- ・住みよさランキング (DataBankSERIES2019 都市データバック / 2019年東洋経済新報社) で 北関東第1位、関東第9位、全国第44位

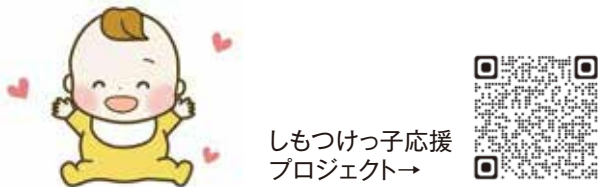
◆制服の選択制を導入

市内中・義務教育学校では、制服選択制を実施し多様性の尊重を図っています。例えば女子生徒であれば、スカートとスラックスを選ぶことができます。



◆子育て支援 しもつけっ子応援プロジェクト

だれもが安心して子育てができるように、子育て中の保護者の方の精神的・経済的負担の軽減と、子どもの健やかな成長を応援するために、定期的な見守りと紙おむつ券の交付を実施しています。



◆「下野市イクボス宣言」を行いました

社会や職場における女性活躍の加速化と男性の育児・家庭参加等を目的として、令和5年3月24日、「下野市イクボス宣言」を行いました。坂村市長は、4月末に第二子が誕生したことに伴い、育児による休暇を取得し、市長自ら積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます。



下野市イクボス宣言

◆いきいきと働ける職場環境づくり ワーク・ライフ・バランスの推進

市内に工業団地(石橋、柴、西坪山、下坪山)があることから、多くの企業が地域経済を支えています。市では、職場環境の整備や男女共同参画推進に取り組む市内事業所を認定し、その取組を応援しています。

下野市ワーク・ライフ・バランス
推進事業所認定制度→



ボランティアだからできること

編集委員 小林

皆さんはボランティア活動をした事がありますか? また、ボランティアに対してどんなイメージを持っていますか?

私は大学生になった昨年からボランティア団体に所属しています。私が所属する団体では、下野市内の自然保護や生物調査、里山・ビオトープの管理など、様々な活動を行っています。私自身、自然保護は地域づくりにおいて、とても大切な要素だと考えています。特に下野市では、かんぴょうを中心に多くの特産農作物があり、恵まれた自然環境は、地域経済にも良い影響を与えています。

しかし、自然保護活動には様々な問題があります。それは、資金調達が難しく事業化しにくいことや自然相手の活動は、計画通りに進まないことも多いということです。また行政にも限界があるため全てを丸投げすることはできません。

そこでボランティアの力が必要になります。ボランティアは企業や行政の解決できない地域の問題を解決する第三者であり、利益では無く想いを優先できる唯一無二の活動です。

また、ボランティア活動は女性や学生の社会進出、交流の場になると感じています。ボランティアではスキルや経験、年齢、性別によって活動を制限されることはありません。大切なのは地域のために何かをしたいと思う気持ちです。その気持ちを持っていればどんな人でも快く迎え入れてくれます。女性がリーダーとして活躍している団体もめずらしくなく、男性と対等な立場にあり男女共同参画社会が実現された場であると感じます。

ボランティア活動に対して大変というイメージを持つ方が多いと思います。確かに責任や時間は必要です。しかし、それ以上に良い出会いや自分自身の成長、充実感、やりがいがあります。少しでも興味のある方や地域ともっと関わりを持ちたい方は是非ボランティア活動を試みませんか?



SDGs と不労収入

~鹿沼土から採れるアロフェン~

皆さんは「鹿沼土」について、ご存知でしょうか? 鹿沼土とは、鹿沼市を中心に栃木県で採れる軽石です。水はけが良く通気性が高いことから園芸用土として知られています。また、鹿沼土に含まれる「アロフェン」という物質が、消臭・除湿に優れており、半永久的に使えることから持続可能な調湿剤として注目され、いろんな場所で活躍しています。

お墓に入っている骨壺の中

お墓の下に入っている骨壺はかなりの湿気で、水が骨壺いっぱい溜まってしまいます。その湿気を取りのぞくために使われています。

家庭でも…

湿気や臭いが気になる靴の中やトイレ、クローゼットなどに効果的です。カビ菌の繁殖を抑えることができます。



「男女共同参画のつどい」を開催します

男女が互いを認め合い、思いやりを持てる男女共同参画社会の実現について考えることを目的として、男女共同参画のつどいを開催します。つどいでは、女性の社会進出を描いた映画「タイピスト!」の上映を行います。みなさんぜひお越しください!

- 日時** 8月26日(土) 午後1時30分~午後4時
- 場所** グリムの館
- 入場料** 無料
- 定員** 200名(申込不要・先着順)
- 内容** 第一部 令和5年度下野市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定証交付式
第二部 映画上映「タイピスト!」



素敵な上司は鬼コーチ。
目指すはタイプ打ち世界ー!



問い合わせ先 市民協働推進課 ☎0285-32-8887